

月報「ぶどうの木」

2023年8月号

「放蕩息子の帰郷」

秋田郁美

子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。だが、お前のあの弟は死んでいたのに生き返った。いなくなっていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。

ルカ 15 : 31, 32

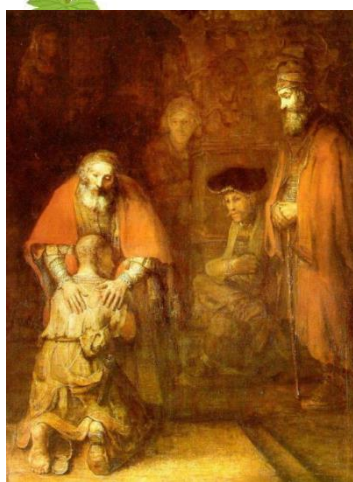
先日教会員の数名の方とお話しをされていて、ルカによる福音書の15章にある「放蕩息子」のたとえ話しについての話題になりました。話題はレンブラントの絵画「放蕩息子の帰郷」やヘンリ・ナウエンの著書“The Return of the Prodigal Son”に及び、改めてこのたとえ話しに深い意味があることを共感しました。私たちが最初にこのたとえ話しを聞いた時、「こんなに放蕩の限りを尽くした弟を赦して、大歓迎した父に対してつぶやいた兄の気持ちがよく分かる」と悪い弟のこと＝罪人を赦す神が理解できない、と思ったのではないのでしょうか。それは、自分が罪人だとは思っていなかったからです。まっとうな生き方をしてきた人がほとんどですから、世の中の犯罪人を簡単に赦してはいけない、という気持ちがあります。つまりこのたとえ話しを聞いた時に、自分は兄の立場だとし、兄の気持ちに共感するのです。

しかし、いなくなっていた弟が無事に帰ってきたことを喜べない、という思いの中に人を愛することのできない、自己中心の罪があることに気が付きます。そして、自分こそが罪人であり、その自分を罪から救うためにイエス・キリストは十字架で命をささげてくださいましたのだ、自分は弟のほうだったのだ、と知るのです。

そしてさらに、罪を赦された自分は、父である神のように、罪人を愛し、その命を献げるほどに愛し抜いたキリストの姿に近づかなければならないことを示されるのです。

あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。ルカ 6 : 36

このたとえ話しは、父、弟、兄の全てに自分をあてはめて考えるようにと、主が示してくださったのです。



7/9 秋田波瑠人くん献児式



7/30 久しぶりの愛餐会

8月役員会決定事項

- ・7月度の経常会計・基金会計・建造物会計が承認された。
- ・11月3日の東部教区親睦会について詳細を確認。当教会からの参加者を募ることとした。
- ・8月末に転居する佐藤寛子姉に教会より送別の品を贈ることとする。
- ・森田兄に、教会で子供たちを集めてブラジリアン柔術を指導していただくことについて、祈りつつ検討していく。

7月度の会計報告

経常会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

月 定 献 金	233,000	牧 師 謝 儀	290,000
礼 拜 献 金	63,200	伝 道 費	64,884
C S 献 金	500	礼 典 費	0
特 別 感 謝 献 金	50,000	C S 補 助	500
祝 祭 献 金	0	火 災 保 険 料	0
雑 収 入	0	事 務 消 耗 費	6,039
<月定献金>		水 道 光 熱 費	11,413
秋田家、池田(博)家、池田(真)家、大槻姉、岸田姉		電 話 代	8,011
佐藤姉、長岡家、西村姉、三石家、山田家		什 器 備 品 費	2,896
<感謝献金>		教 団 負 担 金	0
秋田家、匿名		謝 恩 金 負 担 金	0
<夏期感謝献金>		対 外 献 金	5,000
伊原姉、長岡家、三石家、山田家		慶 弔 ・ 接 待 費	0
		研 修 費	0
		基 金 繰 入 金	0
		建 造 物 会 計 繰 入 金	5,000
収 入 小 計	346,700	支 出 小 計	393,743
前 月 繰 越 金	526,003	次 月 繰 越 金	478,960
合 計	872,703	合 計	872,703
教 会 基 金 会 計 残 高	5,000,000 円		報告:山田正博

教会建造物会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

経 常 会 計 繰 入	5,000		
収 入 小 計	5,000	支 出 合 計	0
前 月 繰 越 金	41,433	次 月 繰 越 金	46,433
合 計	46,433	合 計	46,433

報告: 秋田郁美